SONY®

3-862-269-**04**(1)

カセットコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

TCM-4TR

❗ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- カセットレコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

目次

▶進んだ使いかた

▶その他

主な特長

このテープレコーダーはソニー株式会社が視覚障害者のために特別に開発した製品です。標準スピード（4.8cm/s）と半減速（2.4cm/s）の録音・再生に加えて、4トラック半減速で録音されたテープの再生もできます。

主な特長は次の通りです。

- 録音、再生に4.8cm/sと2.4cm/sの**2種類のテープスピード**。

- 通常の2トラックテープに加えて、**4トラックテープも再生可能**。

- 再生スピードを変えると自動的に、再生ピッチ（音の高さ）も調節されるDPC - Digital Pitch Control（デジタル　ピッチ　コントロール）**（デジタル音程調整）機能**。

- 録音内容ごとに信号音を入れておくことにより、キュー／レビュー時に頭出しができる、**キューマーカー機能**。

- 発言者の声を明瞭にとらえるBoundary effect（バウンダリー　エフェクト）収音方式の**フラットマイク内蔵**。

- 電池の消耗を2段階で知らせる**録音／電池残量ランプ**と、電池の交換時期を知らせる**電池交換お知らせランプとお知らせ音**。

- 再生・録音時にテープの終わりで自動的に動作が止まる、**オートシャットオフ機能**。

- 停止ボタンを押すと一時停止も解除される、**ストップポーズリリース機能**。解除を忘れて録音チャンスを逃してしまう失敗を減らします。

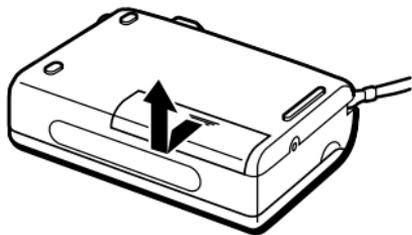
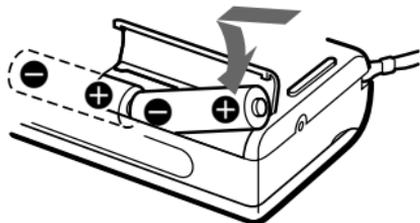
ご注意

- 4.8cm/s、2.4cm/sのどちらのテープスピードでも録音することはできますが、2トラックの録音のみになります。4トラックの録音はできないのでご注意ください。
- ステレオテープは正しく再生できません。
- 本機で2.4cm/sのテープスピードで録音したテープは通常のテープレコーダーでは正しく再生できません。

乾電池を入れる

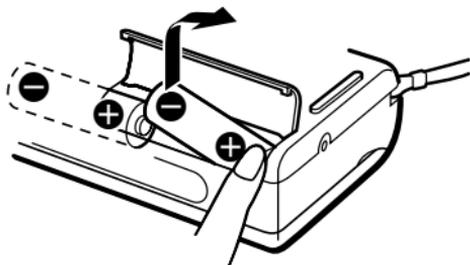
ここでは乾電池での使いかたを説明します。付属のACパワーアダプターをつないでコンセントで使うには、「コンセントにつないで使う」（26ページ）をご覧ください。

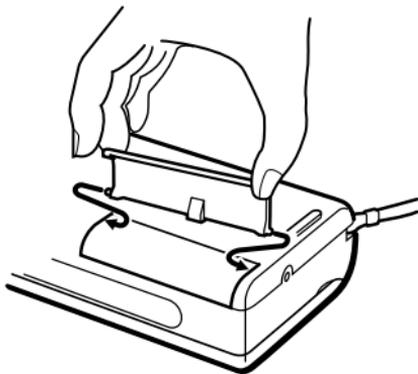
1 付属の乾電池を入れる

① 押しながら矢印の方向へずらし、持ち上げる

② 単3形乾電池2本を入れる

2本とも⊖側を奥にして入れる

ご注意

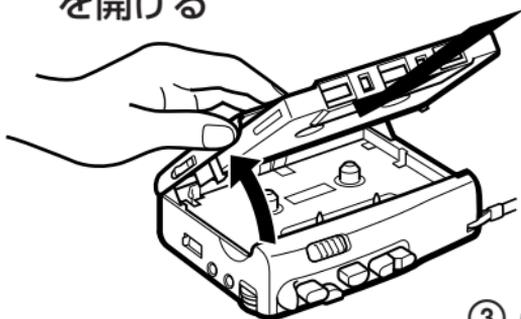
- 新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

乾電池を取り出すときは

電池入れのふたがはずれたときは

電池入れのふたは、開けるときに過大な力を加えると、はずれるようになっています。はずれた場合は、図のように取り付けてください。

テープを聞く（通常（2トラック）のテープの場合）

内蔵スピーカーから音が聞こえます。
ノーマルテープ(TYPE I)をお使いください。

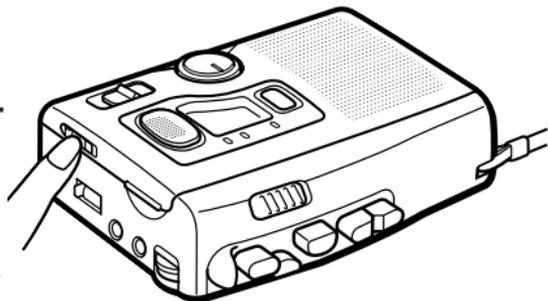
1 カセットを入れる

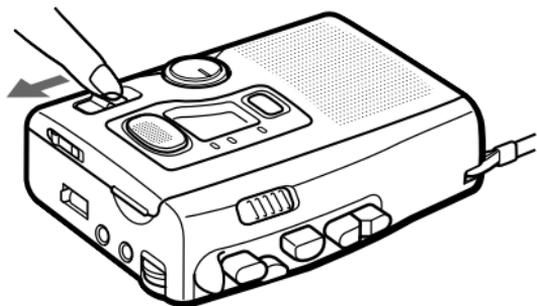
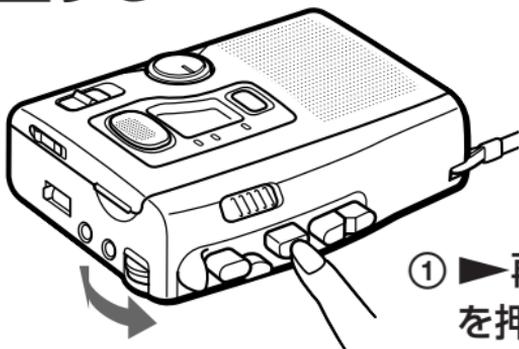
① 手でふたを開ける

② 再生を始める面をふた側にしてカセットを入れる

③ ふたを閉める

2 テープスピードを選ぶ

録音したときの速度（4.8cm/sまたは2.4cm/s）に合わせます。

テープスピード切り換えスイッチを「4.8」または「2.4」に合わせる

3 再生トラック切り換えスイッチを「通常1-2」に合わせる

再生トラック切り換えスイッチ

4 再生する

① ►再生ボタンを押す

② 音量◢つまみで音量を調節する

つづく ➡

その他の操作

操作	押すボタン、ずらすつまみ
テープを止める	■停止
一時停止する	一時停止━▶ 一時停止を解除するには、 一時停止━▶を元に戻す*
早送りする**	▶▶早送り／キュー
巻き戻す**	◀◀巻戻し／レビュー
音を聞きながら早送りする（キュー）	再生中に▶▶早送り／キューを押し続ける
音を聞きながら巻き戻す（レビュー）	再生中に◀◀巻戻し／レビューを押し続ける
カセットを取り出す	■停止を押してから、手でふたを開ける

* 一時停止は■停止ボタンを押した場合にも自動的に解除されます（ストップポーズリリース機能）。

** 早送り、巻き戻しをしてテープが巻き取られたあと、そのままにしておくとカタカタと音がします。電池が急激に消耗してしまうので必ず■停止ボタンを押してください。

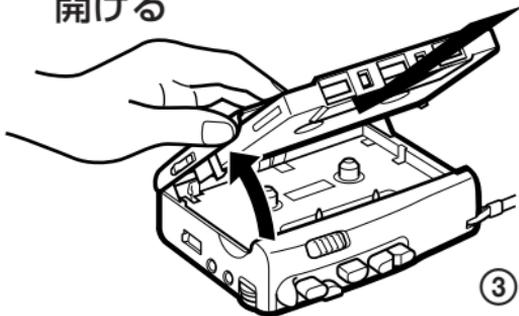
ご注意

ステレオ録音されたテープを再生した場合、L（左）チャンネルの音しか聞こえません。

テープを聞く(4トラックテープの場合)

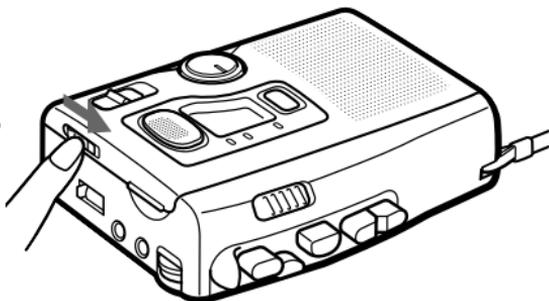
内蔵スピーカーから音が聞こえます。
ノーマルテープ(TYPE I)をお使いください。

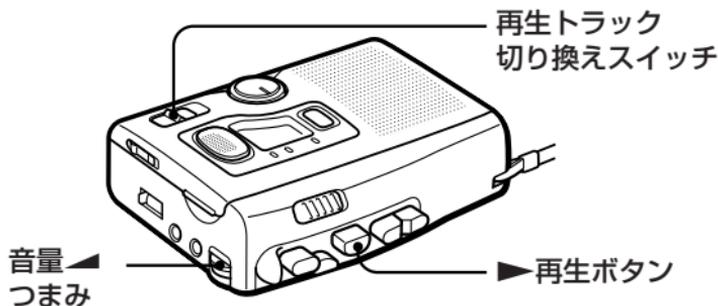
1 カセットを入れる

① 手でふたを開ける

② 再生を始める面をふた側にしてカセットを入れる

③ ふたを閉める

2 テープスピードを2.4cm/sに合わせる

テープスピード切り換えスイッチを「2.4」に合わせる

つづく

3 再生する

ここでは、トラック1から順番にトラック4まで再生する方法を説明します。
カセットのA面がふた側になって入っていることを確認してください。

① 再生トラック切り換えスイッチを「通常1-2」に合わせて、►再生ボタンを押す。
トラック1が再生されます。

② カセットを取り出し、面をひっくり返して入れる。(B面をふた側にします。)

③ 再生トラック切り換えスイッチは「通常1-2」のままで、►再生ボタンを押す。
トラック2が再生されます。

④ **カセットを取り出し、面をひっくり返して入れる。（再びA面をふた側にします。）**

⑤ **再生トラック切り換えスイッチを「3-4」に合わせて、►再生ボタンを押す。**
トラック3が再生されます。

⑥ **カセットを取り出し、面をひっくり返して入れる。（再びB面をふた側にします。）**

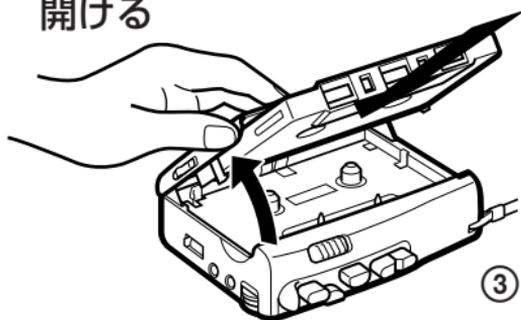
⑦ **再生トラック切り換えスイッチは「3-4」のままで、►再生ボタンを押す。**
トラック4が再生されます。

その他の操作は「通常（2トラック）のテープの場合」と同じです（8ページ）。

録音する

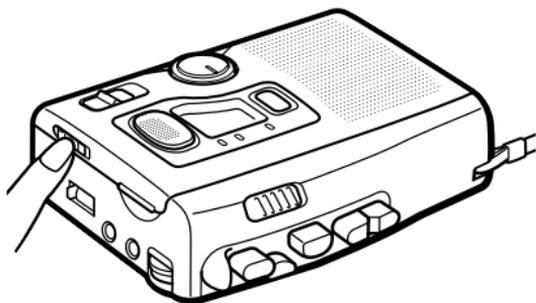
内蔵マイクですぐに録音できます。
録音にはノーマルテープ(TYPE Ⅰ)をお使いください。
クローム（TYPEⅡ)、メタル（TYPE Ⅳ）では正しく録音できないことがあります。

1 カセットを入れる

① 手でふたを開ける

② 録音を始める面をふた側にしてカセットを入れる

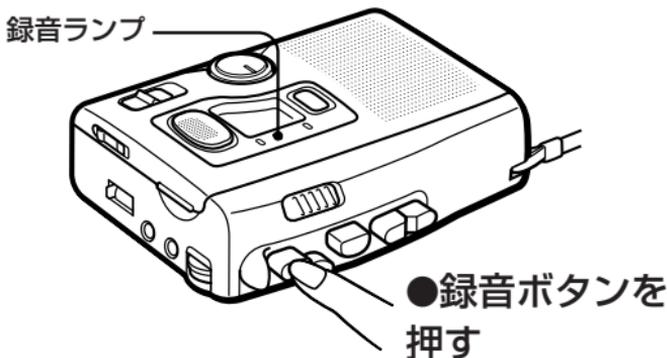
③ ふたを閉める

2 テープスピードを選ぶ

テープスピード切り換えスイッチを「2.4」または「4.8」に合わせる（詳しくは18ページ）

3 録音する

録音中は、音の強弱にあわせて録音ランプの明るさが変わります。

録音ランプ

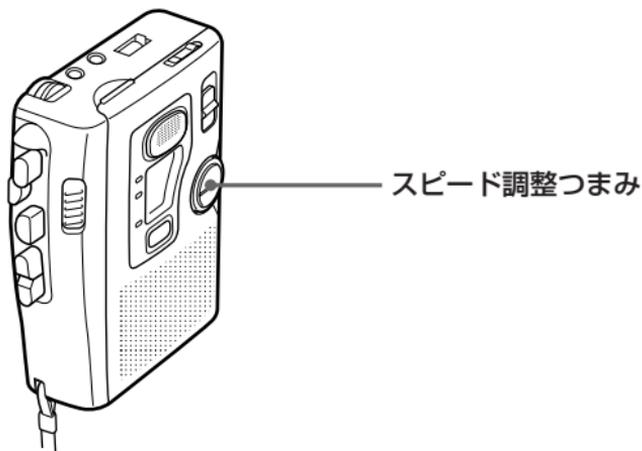
●録音ボタンを押す

ご注意

録音は再生トラック切り換えスイッチの位置に関係なく、2トラックの録音になります。

操作	押すボタン、ずらすつまみ
録音を止める	■停止
後追い録音をする	再生中に●録音（録音状態になる）
録音内容をすぐ聞く（ワンタッチレビュー）	録音中に◀◀巻き戻し／レビュー（指を離すとそこから再生する）
一時停止する	一時停止➡ 一時停止を解除するには、 一時停止➡を元に戻す*
カセットを取り出す	■停止を押してから手でふたを開ける

* 一時停止は■停止ボタンを押した場合にも自動的に解除されます（ストップポーズリリース機能）。

再生スピードを調節する（DPC機能）

DPC機能は再生速度に合わせてピッチが自動的に調整される機能です。
半減速テープ図書や4トラックテープなど、2.4cm/sのテープ速度で録音されたテープを再生するときは、約+100%〜0%の間で再生速度を調節することができます。
また、4.8cm/sのテープ速度で再生するときは、約+100%〜–50%の間で再生速度を調節することができます。
スピード調整つまみを使って速度を変えると、その速度に合わせてピッチが自動的に調整されます。

スピード調整つまみ

スピード調整つまみを次のように調節します。

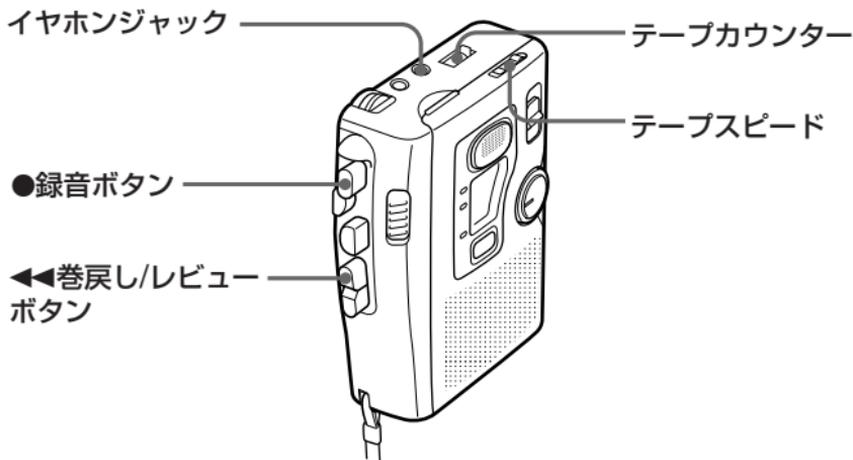
再生速度		つまみの位置
速く再生する	(2.4cm/s)	速い
	(4.8cm/s)	速い
通常の速度で再生する		中央
ゆっくり再生する	(2.4cm/s)	無し*
	(4.8cm/s)	遅い

* 2.4cm/sのテープ速度で再生すると、スピード調整つまみを「遅い」の方に回しても変わりません。

ご注意

- DPC機能を使用したときは、通常の再生時と全く同じピッチにはなりません。また音質も多少異なります。
- 電池が消耗しているときに、スピード調整つまみを急に動かすとノイズが出ることがあります。ゆっくり動かすか、電池を交換してください。
- スピード調整つまみの操作中または再生中に音量を調節すると、録音／電池残量ランプがちらつくことがあります。
- 録音中はDPC機能は使えません。

録音の便利な機能を使う

イヤホンジャック
テープカウンター
テープスピード
●録音ボタン
◀◀巻戻し/レビュー
ボタン

テープカウンターを使う

録音を始める前に、テープカウンターのリセットボタンを押して「000」にします。録音の頭を探すのに便利です。

テープ速度

テープスピード切り換えスイッチでテープ速度を選びます。

4.8cm：通常の録音をするとき
「2.4 cm」のときより良い音で録音できます。

2.4cm：テープを2倍の長さに使って録音するとき
（C-60テープを使うと往復120分の録音ができます。）

録音中の音を聞くには

付属のイヤーレシーバーをイヤホンジャックにつなぎます。
イヤーレシーバーから聞こえる音は音量◢つまみで音量を調節できますが、録音される音の大きさは一定に保たれます。

後追い録音をする

再生中に●録音ボタンを押すと、そこから録音状態になります。録音されたものの一部分を修正したいときなどに便利です。

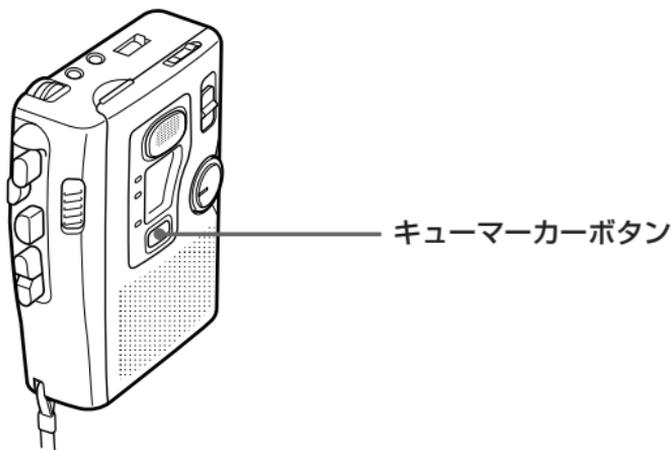
録音したものをすぐに聞く（ワンタッチレビュー）

録音中に◀◀巻戻し／レビューボタンを押すとテープが巻き戻され、手を離すとそこから再生が始まります。

テープが終わりまでくると（オートシャットオフ機構）

録音／再生状態でテープが終わりまで巻き取られると、自動的にボタンが解除されテープが止まります。

キューマーカーを録音する

録音中にキューマーカーボタンを押すことによって、
目印としての信号を録音することができます。

キューマーカーボタン

録音中に信号を録音したいところでキューマーカーボタンを押します。
録音ランプが消灯して、信号がテープに録音されます。さらに長い信号を録音したい場合は、ボタンを押し続けてください。

再生状態で早送りをしたり（キュー）、巻き戻したり（レビュー）すると、信号が録音されているところで「プー」という音が聞こえ、目印の位置が分かります。
なお、再生中にも低い音で聞こえる場合があります。

ご注意

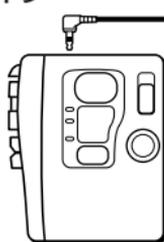
- キューマーカーは音声のとぎれたところでお使いください。
- キューマーカーの信号音はキュー時とレビュー時では音質が異なります。また、テープの最初と最後では巻き取られる速度が異なるため、テープの箇所によっても音質が変わります。
- 録音中にキューマーカーボタンを押して、信号を録音すると、録音ランプが約8秒間消灯しますが、録音は途切れません。

外部マイクや他の機器から録音する

ご注意 録音する前に

- 接続コード類のプラグはしっかり差し込んでください。
- 接続や音量調節の失敗を防ぐため、本番前に試し録音をしてください。
- 下の例はソニー製品の場合です。他社製品との接続がうまくいかないときは、その製品の説明書をご覧ください。

外部マイク（別売り）で録音する

マイクジャックにプラグをしっかり差し込むと、内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。
プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

本機にカセットを入れ、●録音ボタンを押します。

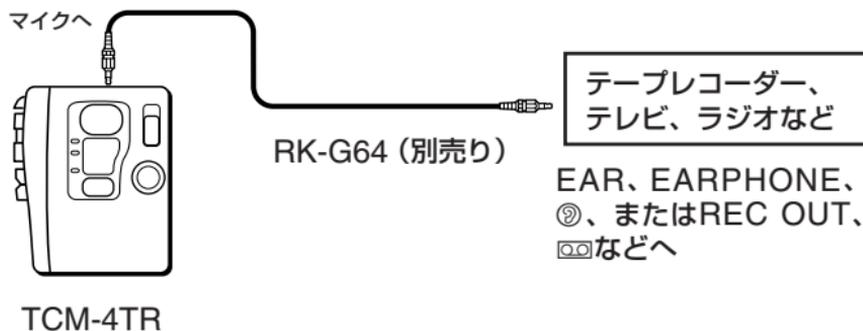
他の機器から録音する

マイクへ

テープレコーダー、
テレビ、ラジオなど

RK-G64（別売り）

EAR、EARPHONE、
、またはREC OUT、
などへ

TCM-4TR

1 本機にカセットを入れます。

2 録音する音を他の機器から出し、聞きやすい音量にします。（テレビやラジオのREC OUTやジャックなどから録音するときは、音量を変えても録音には影響しません。）

3 ●録音ボタンを押します。

電源について

乾電池の持続時間

使用電池	録音時(JEITA*) 4.8cm/s	 2.4cm/s	再生時(JEITA*) 4.8cm/s	 2.4cm/s
ソニーアルカリ乾電池LR6(SG)使用時	約6.5時間	約7時間	約6.5時間	約7時間
ソニー乾電池R6P(SR)使用時	約1時間	約1.5時間	約1時間	約1.5時間

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です（ソニーHFシリーズカセットテープ使用）。（音量7分目程度でミュージックテープをスピーカーで再生した場合。）

乾電池は持続時間の長いアルカリ乾電池をおすすめします。

ご注意

電池持続時間は、使用条件によって短くなる場合があります。

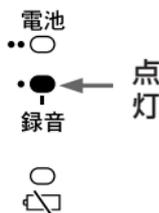
乾電池を交換する時期

乾電池の残量は録音／電池残量ランプでお知らせします。また、電池の交換時期は電池交換お知らせランプと「ピー」という音でお知らせします。
電池が消耗すると、テープ走行が不安定になったり雑音が多くなったりします。電池交換お知らせランプ（🪫）が点滅し、「ピー」という音が鳴ったら、乾電池は2本とも新しいものと交換してください。

電池
録音
点灯

電池
録音
点灯

電池
録音
点滅

新しい乾電池で使用時

乾電池が消耗してきたとき

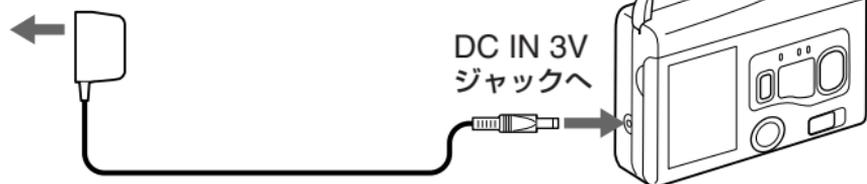
(「ピー」と聞こえます)
乾電池を交換してください

ご注意

- 「ピー」という音は、録音中は、イヤホンから聞こえます。再生中は、イヤホンとスピーカーの両方から聞こえます。
- 早送り(キュー)/巻き戻し(レビュー)中に「ピー」という音がして、ランプが点滅することがあります。テープが正常に動かないときのみ、電池を交換してください。
- 別売りの充電式電池でお使いの場合、充電してあっても録音/電池残量ランプが1つしか点灯しないことがあります。
- 再生中に音量を上げたときなどに録音/電池残量ランプが音に応じてちらつくことがありますが、乾電池を交換する必要はありません。
- 「ピー」という音がして、ランプが点滅し始めても、しばらくはテープが正常に動きますが、内蔵スピーカーから大きな雑音が出たり正しく録音されていないことがありますので、必ず乾電池を交換してください。
- テープの動きはじめやテープの終わりで、ランプが瞬間的に点灯し、短い「ピー」音がすることがあります。ランプがすぐに消えた場合は、乾電池を交換する必要がありません。

つづく

コンセントにつないで使う

電源コン
セントへ

DC IN 3V
ジャックへ

ACパワーアダプター
（付属）

1 付属のACパワーアダプターを本体のDC IN 3Vジャックにつなぎます。

2 ACパワーアダプターをコンセントにつなぎます。

この製品には、付属のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA規格)をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。

極性統一形プラグ

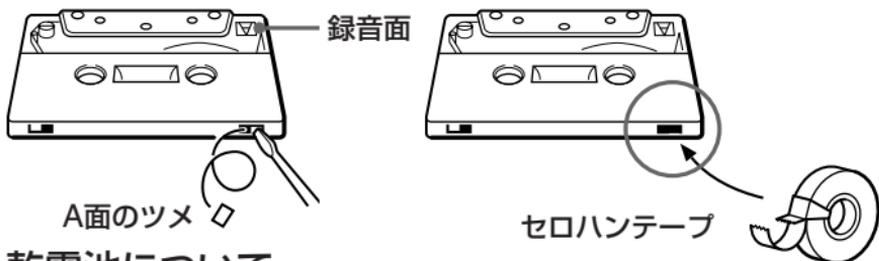
使用上のご注意

録音について

- 録音には、必ずノーマルテープ（TYPE I）をお使いください。（CrO_2／メタルテープでは正しく録音されません。）
- マイクジャックに外部マイクや接続コードが差し込まれていると、内蔵マイクを使っての録音はできません。
- 内蔵マイクを強く押さないでください。 マイクが変形し、雑音の原因となります。
- 録音中、マイクを電灯線や蛍光灯に近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中はスピーカーから音は出ません。付属のイヤーレシーバーで聞いてください。
- 録音中の音をイヤーレシーバーで聞いているとき、イヤーレシーバーの音をマイクが拾い、ビーという音が生じることがあります（ハウリング現象）。この場合はイヤーレシーバーをはずすか、音量◢つまみで音量を小さくしてください。

つづく➡

大切な録音を守るには

カセットのツメを折ると、録音状態にできなくなるので誤って消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をふさぐと再び録音できます。

乾電池について

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことは必ずお守りください。

- ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
- 乾電池は充電できません。
- 長い間使わないときは、取り出しておいてください。
- 液もれが起こったときは、液をよくふきとってから新しい乾電池を入れてください。
- 持ち運ぶときはキーホルダーなどの金属類と一緒にポケットに入れないでください。乾電池の⊕⊖、または乾電池ケースの端子が金属でつながるとショートし、発熱して危険です。

• 付属のACパワーアダプターや別売りのカーバッテリーコードをDC IN 3Vジャックにつないでいると、乾電池ではお使いになれません。

環境汚染の軽減と経済性を考えて

本機は、乾電池の他に
－付属のACパワーアダプター
－別売りのニカド充電式電池NC-AA-2B(別売りのバッテリーチャージャーBC-30K2にて充電可能）
でもお使いになれます。

取り扱いについて

• 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
• 次のような場所には置かないでください。
ー温度が非常に高いところ(60℃以上)。
ー直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
ー窓を閉めきった自動車内(特に夏季)。
ー風呂場など湿気の多いところ。
ー磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
ーほこりの多いところ。

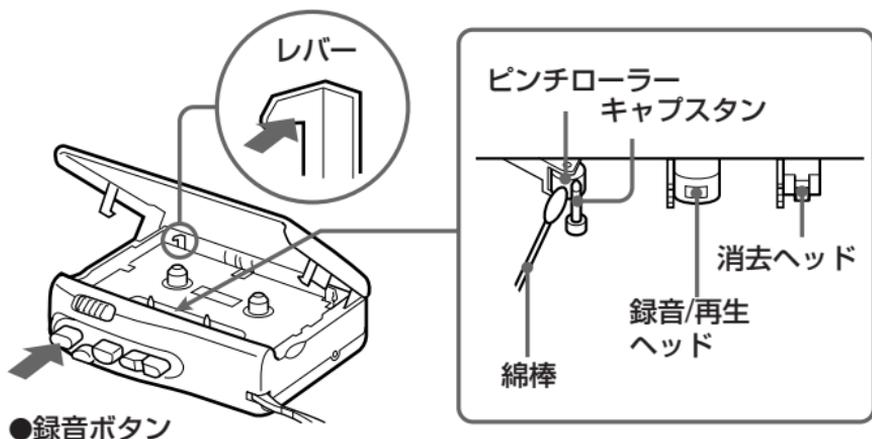
つづく➡

- 長時間テープについて
  90分をこえるテープは非常に薄く伸びやすいので、こきざみな走行、停止、早送り、巻き戻しなどを繰り返さないでください。テープが機械に巻き込まれる場合があります。
- エンドレスカセットテープについて
  エンドレスカセットテープはお使いにならないでください。機械に巻き込まれる場合があります。
- 長い間使わなかったときは、再びお使いになる前に、数分間再生状態にして空回をしてください。良い状態でお使いいただけます。

キャッシュカードや定期券などで、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけると、マグネットの影響で磁気が変化してカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

万一故障した場合は、内部を開けずに、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

お手入れ

レバー
ピンチローラー
キャプスタン
消去ヘッド
録音/再生ヘッド
綿棒
●録音ボタン

よい音でテープを聞くために

10時間程度使ったら、レバーを押しながら、●録音ボタンを押し込んだあとに、別売りのクリーニングキット(KK-41)でヘッド、キャプスタン、ピンチローラーをきれいにしてください。録音／再生ヘッドはピカピカ光るような状態になるようにしてください。

本体表面が汚れたときは

水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

主な仕様

トラック方式	録音時：2トラック、モノラル 再生時：4トラック、モノラル
スピーカー	直径36mm
テープ速度	4.8cm/s、2.4cm/sのスピード切り換え
周波数範囲（JEITA*）	TYPE I（ノーマル）カセット 250～6,300 Hz
出力端子	イヤホン(ミニジャック)（1） 負荷インピーダンス　8～300 Ω のイヤホン用
実用最大出力(DC時)	260 mW (JEITA*)
テープスピード可変範囲	4.8cm/sのテープ速度時： +100%～–50% 2.4cm/sのテープ速度時： +100%～0%
電源	DC 3V 単3形乾電池2本使用 付属のACパワーアダプターAC-E30Lを接続してAC 100Vから使用可能。
最大外形寸法	約90.9 × 113.0 × 39.5 mm (幅/高さ/奥行き)(JEITA*) 最大突起部含む

質量	本体 約200g ご使用時 270g（ソニーアルカリ乾電池LR6(SG))2本、カセットテープC-60HF含む）
付属品	ソニーアルカリ乾電池 LR6(SG) (2) ACパワーアダプター AC-E30L(1) イヤーレシーバー(1) 取扱説明書(1) 声の取扱説明書（カセットテープ）(1) 保証書(1) ソニーご相談窓口のご案内 (1)

*JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。

別売りアクセサリー	カーバッテリーコード DCC-E230 接続コード RK-G64 クリーニングキット KK-41 マイクロホン ECM-T15

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

故障かな？

修理に出す前にもう１度お調べください。

症状	原因／処置
再生できない。	• テープが終わりまで巻き取られている。
	• 録音/再生ヘッドが汚れている。 ➔クリーニングする。
	• ステレオテープは正しく再生できません。
録音できない。	• カセットが入っていない。
	• カセットのツメが折れている。 ➔録音内容を消してもよい場合は穴をふさぐ。
	• 乾電池が消耗している。 ➔2本とも同じ種類の新しいものと交換する。
	• 録音/再生ヘッドが汚れている。 ➔クリーニングする。
前の音が完全には消えない。	• 消去ヘッドが汚れている。 ➔クリーニングする。
	• メタル、クロームのテープを使っている。

症状	原因／処置
操作ボタンを押しても動作しない。	● 乾電池の⊕と⊖の向きが正しくない。 ➔向きを確認して入れなおす。
	● 乾電池が消耗している。 ➔ 2 本とも同じ種類の新しいものと交換する。
	● 一時停止━▶が矢印の方向へずらされている。
	● ACパワーアダプターが正しく接続されていない。
	● ACパワーアダプターやカーバッテリーコードが本体に差したままになっている。 ➔ACパワーアダプターやカーバッテリーコードがDC IN 3Vジャックに差してあると、それが優先されるので、乾電池使用時には本体から抜いておく。
キュー／レビュー中、途中で止まる。または動かない。 早送りや巻き戻しができない。	● 乾電池が消耗している。 ➔2本とも同じ種類の新しいものと交換する。

つづく━▶

症状	原因／処置
音が小さい。 音質がよくない。 雑音が入る。	● 乾電池が消耗している。 ➔2本とも同じ種類の新しいものと交換する。
	● 録音/再生ヘッドが汚れている。 ➔クリーニングする。
	● カセットテープをスピーカーの上に直接置いていた。（直接置くと音質が劣化することがあります。）
	● メタル、クロームのテープを使っている。
スピーカーから音が出ない。	● イヤーレシーバーが差し込まれている。
	● 音量が最小になっている。
	● テープスピード切り換えスイッチがきちんと「2.4cm」か「4.8cm」に切り換わっていない。
	● 通常（2トラック）のテープ再生なのに再生トラック切り換えスイッチが「3-4」になっている。 ➔「通常1-2」に合わせる。
4トラックテープ以外のテープを再生しているときに、音がおかしい。	● 再生トラック切り換えスイッチが「3-4」になっている。 ➔「通常1-2」に合わせる。

症状	原因／処置
音が不安定で急に音程が狂う。	● スピード調整つまみが中央以外の位置にある。（原音と全く同じ音程にはなりません。）
	● 乾電池が消耗している。 ➔2本とも同じ種類の新しいものと交換する。
	● キャプスタンやピンチローラーが汚れている。 ➔クリーニングする。
再生速度が速すぎたり、遅すぎたりする。	● テープスピード切り換えスイッチの位置が録音時と違う位置にある。
	● スピード調整つまみが中央になっていない。
本体動作中にノイズ（カチカチ音）が入る。	● テープカウンターのリセットボタンが誤って押されている。 ➔もう一度しっかり押して000にする。
早送りや巻き戻しをして、テープが終わりまで巻き取られたあとにカタカタと音がする。	● 停止状態になっていない。 ➔■停止ボタンを押す。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

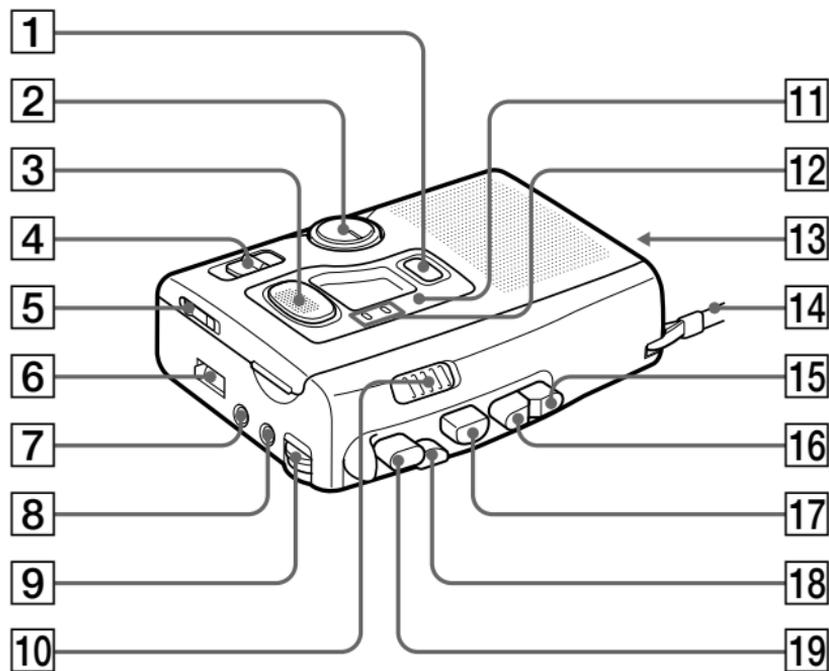
保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではカセットコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

各部の名前

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19

1 キューマーカーボタン（20ページ）

2 スピード調整つまみ（16ページ）

3 フラットマイク

4 再生トラック切り換えスイッチ（9、12ページ）

5 テープスピード切り換えスイッチ
（8、11、14、18ページ）

6 テープカウンター（18ページ）

7 イヤホンジャック（19ページ）

8 マイクジャック（22ページ）

9 音量◢つまみ（9ページ）

10 一時停止━▶スイッチ（10、15ページ）

11 (電池交換お知らせ)ランプ（24ページ）

12 電池／録音ランプ（15、24ページ）

13 DC IN 3Vジャック（26ページ）

14 ハンドストラップ

15 ▶▶早送り／キューボタン（10ページ）

16 ◀◀巻戻し／レビューボタン（10、15ページ）

17 ▶ 再生ボタン（9、12ページ）

18 ■停止 ボタン（10、15ページ）

19 ●録音ボタン（15ページ）

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ、ナ行

ハ行

マ、ヤ行

ラ行

ワ行

アルファベット順

よくあるお問い合わせ、解決方法などは
ホームページをご活用ください。　**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・ 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・ 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に

「304」+「#」

を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389 **受付時間** 月～金:9:00～20:00 土・日・祝日:9:00～17:00

ソニー株式会社　　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Printed in China